

オプアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題（研究番号）	日本救急医学会関東地方会における院外心肺停止患者に対する匿名加工情報（非識別加工情報）を用いた他施設前向き観察研究（2017年） Survey of Survivors after Cardiac Arrest in the Kanto Area 2017（略称 SOS-KANTO 2017）
当院の研究責任者（所属）	森田 泰正（救急科）
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者（所属）	日本救急医学会関東地方会 研究代表者 北村伸哉（君津中央病院 救命救急センター）
研究の目的	約60施設、約1万例の院外心肺停止患者を調査し、時代背景の変化に伴う転帰の変化と、転帰改善に寄与する因子を検討することを目的とする。
対象となる調査期間	2019年4月から2020年3月まで（調整中）
対象となる患者様	救急隊により研究参加施設に搬送され治療を受けた院外心肺停止全例
使用する情報、試料等（[○]の項目を利用します）	[]血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物（尿・便）、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 []その他（空白に記載）
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報情報を削除した上で、上記情報を上記学会へ提供します。
研究期間	2019年4月から2020年6月まで（調整中）
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2019年5月13日

入力者 森田 泰正

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい。
HP掲載を終了します。